

ことわざ

可愛い子には
旅をさせよ

子供が可愛いのであれば、甘やかしてばかりではなく、逆に世の中の辛さを経験させることだ。



可愛い子には
旅をさせよ

か

蛙の子は蛙



なにことも子は親に似るものだということ。子は親の進んだ道を行くもの。また、凡人の子はやはり凡人だということにも使う。

か

蛙の子は蛙



九死に一生を
得る

死と死ぬかと思われたような危険な状態を脱して、幸うじて命が助かる。奇跡的に生き伸びる。



九死に一生を
得る

き

聞いて極楽

見て地獄



人から聞いたのと、自分の目で実際に見たのでは大きな相違がある。

き

聞いて極楽

見て地獄



金時の
火事見舞い

元々額の赤い金時（金太郎）が火事見舞いに行ったら、並々顔が赤くなるというところから、顔が非常に赤いことの意味。



金時の
火事見舞い

き

漁夫の利



当事者同士が争っている間に、第三者がまんまと利益を横取りすること。

き

漁夫の利



口は禍の元

うっかり言った言葉が後の災難を招くということ。言葉は慎しむべきであるという戒め。



く

口は禍の元



臭い物に
蓋をする



失敗や醜聞・悪事などが外部に洩れないように、安易で、しかも一時凌ぎの手段を取ること。

く

臭い物に

蓋をする

